

ごめんな・・・本当に・・・

作者： NAO

2012年 7月 23日(月曜日) 20:39 -

---

こんばんは★

さて、早速、 [NAO](#) さんのブログの続きです。

今書かせて頂いている私の昔の彼女の死・・・

この死で私は相当、苦しみました。

そして、人を愛することを忘れようとした。

でも・・・

では続きです。

ブルーシートが被されたタンカ・・・

その中には・・・

彼女がいるのだろう。

冷たくなって。。。。

私と先輩の彼女は警察の事故処理が終了したあと、  
先輩、そして、私の彼女が運ばれた病院へ向かった。

ごめんな・・・本当に・・・

作者： NAO

2012年 7月 23日(月曜日) 20:39 -

---

病院に着くと、  
真っ先に看護師さんに  
先輩たちの居場所を聞いた。

先輩は集中（緊急）治療室、

彼女は・・・

私と先輩の彼女

あの時、何分くらいかな・・・

あの部屋に入ることができず、  
ずっとドアの前で立ちすくんでいたのは・・・

長い間、あの部屋の前に立っていた気がする。

間もなく、彼女の母親が現れた。

母親は私の顔を見て泣きだした。

いや、泣き崩れた・・・

母親が私に言った言葉。

ごめんな・・・本当に・・・

作者：NAO

2012年 7月 23日(月曜日) 20:39 -

---

今でもはっきり覚えている。

なんで、NAO君は●●（彼女の名前）を  
守ってくれなかったの！？

なんで・・・

なんで・・・

私は母親に詫びることもできず、  
泣くこともできず、  
ただ、ポーっと立っているしかできなかった。

いや、、、

このときの私は放心状態だったのかもしれない。

魂が抜けた・・・

そんな私だったに違いない。

そして、彼女・・・

との再開・・・

ごめんな．．．．．本当に．．．．．

作者： NAO

2012年 7月 23日(月曜日) 20:39 -

---

もう、、、、

痛かったかな．．．．

苦しかったかな．．．．．

ごめんな．．．．